

栃の木からの手紙

2026年 卯月 4月号



2日： 満月 : 旧 2月 15日

4日： 清明

17日： 新月 : 旧 3月 1日

20日： 穀雨

この冬は、湿った降雪が多く、積雪が重くてMOA美幌センターの藤棚が傾いてしまった。4本ある支柱の2本が根元から、棚も片側が折れてしまった。

さてどうやって直したものか？

木製の支柱・棚を金属の単管に置き換えて棚にする方法を実施する。暖かく雪解けの進んだ3月20日に材料を購入。費用は、美幌会通帳と現金合わせて¥26,649で処理。今回の材料代は¥18,399。残金¥8,250。帰りに作業場所の支柱の根元に1mに切った単管を2本打ち込んで下準備。スコップで掘って埋める考えでいたが、大ハンマーで地面に打ち込む方が楽で支柱が安定すると思い実行（1時間）。

21日、藤棚を起こす処から始める。栃の木を支点にしてトラックにロープを繋いで引っ張る。単管の支柱を立てて支える。棚の横棒の下に単管を2本差し込むが、枝に遮られて思い道理の場所に固定できない。小雪の舞う中、3時間で撤退。

22日、藤棚取付再挑戦。今回は、ちょっとした武器を持ってきた。栃の木と単管の支柱の間にこの道具を取り付けて引っ張って支柱を起こす。その後、棚様に単管を横に差し込み、邪魔な枝を伐採して行く。5月末の花の時期には、藤の花が幾らか寂しくなるが、今回は仕方ない。足元の花の芽に注意しながら作業を進める。

藤棚を支柱から棚まで金属の単管に置き換えたが、壊れた木製の支柱や棚はそのまま残しておく。栃の木に引っ張ってもらい安定したら木製の枠は外しても良いかも知れない。

美幌会会報を書き始めた2011年3月には既に藤棚がありました。スマホやパソコンで「オホーツク高橋農場」を検索。流水画面のホームページが出たら左中段の「美幌会会報」を選択。直ぐに会報一覧が表示され、希望の会報を選択するとご覧になれます。

